

第 53 回「山形県内企業の景気動向調査」 確報

(平成 29 年 11 月調査)

～業況は 2 期連続で悪化も、引き続きプラスで推移～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が 3.3 (前回調査比 1.1 ポイント下落) と **2 期連続でやや悪化**となったものの、引き続きプラスで推移している。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。一方、「人員・人手」は 7 期連続で値が上昇しており、人手不足感が増している。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が 10.4 (前回調査比 2.5 ポイント下落)、製造業が 20.0 (前回調査比 3.2 ポイント上昇)、卸・小売業が▲15.0 (前回調査比 8.4 ポイント上昇)、サービス業が▲6.2 (前回調査比 5.2 ポイント下落) と、**製造業と卸・小売業で改善**した一方、**建設業とサービス業で悪化**となっている。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲0.9 (前回調査比 9.4 ポイント上昇)、村山北部が 9.2 (前回調査比 5.4 ポイント下落)、最上が▲4.9 (前回調査比 0.3 ポイント下落)、置賜が 7.6 (前回調査比 7.6 ポイント上昇)、庄内田川が 5.0 (前回調査比 11.3 ポイント下落)、庄内飽海が 5.1 (前回調査比 6.7 ポイント下落) となっている。**村山南部、置賜で改善**した一方、**村山北部、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化**となった。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値」が▲8.1 (今回調査比 11.4 ポイント下落) と悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **冬季ボーナス**について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 62.4% (前年比 5.2 ポイント上昇) と、前年に比べて上昇し、平成 24 年 11 月調査以降 6 年連続の上昇となった。

平成 29 年 12 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別 D I 値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	5
③	卸・小売業	7
④	サービス業	9
3.	地域別の動向	11
(1)	地域別の概況	11
(2)	地域別 D I 値の動向	12
①	村山南部	12
②	村山北部	13
③	最上	14
④	置賜	15
⑤	庄内田川	16
⑥	庄内飽海	17
II.	景気の天気予報図	18
III.	特別調査	19
1.	冬季ボーナスについて	19
(1)	支給予定動向	19
(2)	支給予定額	21
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		23
<参考資料 II : 調査の概要>		23

I. 県内企業の業況

1. 概況

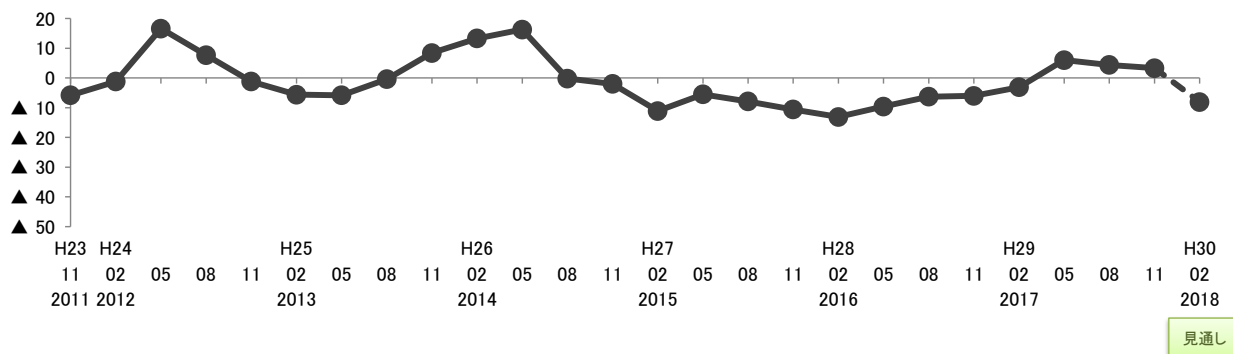
現状判断：業況は2期連続で悪化も、引き続きプラスで推移

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値（前年同期比）」が3.3（前回調査比1.1ポイント下落）と2期連続でやや悪化となったものの、引き続きプラスで推移している。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」が悪化となった。一方、「人員・人手」は7期連続で値が上昇しており、人手不足感が増している。

来期の見通し：悪化が見込まれる

先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲8.1（今回調査比11.4ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 1 全業種「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	(0.3)	▲ 11.9	▲ 6.5	▲ 5.2	24.8	▲ 5.0
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	(2.9)	▲ 10.1	▲ 3.2	▲ 5.9	25.3	▲ 4.3
H 29. 05 (n=419)	6.0	(9.1)	▲ 10.6	4.6	4.1	28.6	▲ 1.5
H 29. 08 (n=435)	4.4	(▲ 1.6)	▲ 9.0	6.2	1.7	35.6	0.0
H 29. 11 (n=418)	3.3	(▲ 1.1)	▲ 6.7	4.1	▲ 0.2	41.4	▲ 4.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 2.1)	(▲ 1.9)	(5.8)	(▲ 4.0)
先行き見通し	▲ 8.1	-	-	▲ 2.8	▲ 9.5	35.7	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 11.4)	-	-	(▲ 6.9)	(▲ 9.3)	(▲ 5.7)	(▲ 8.5)

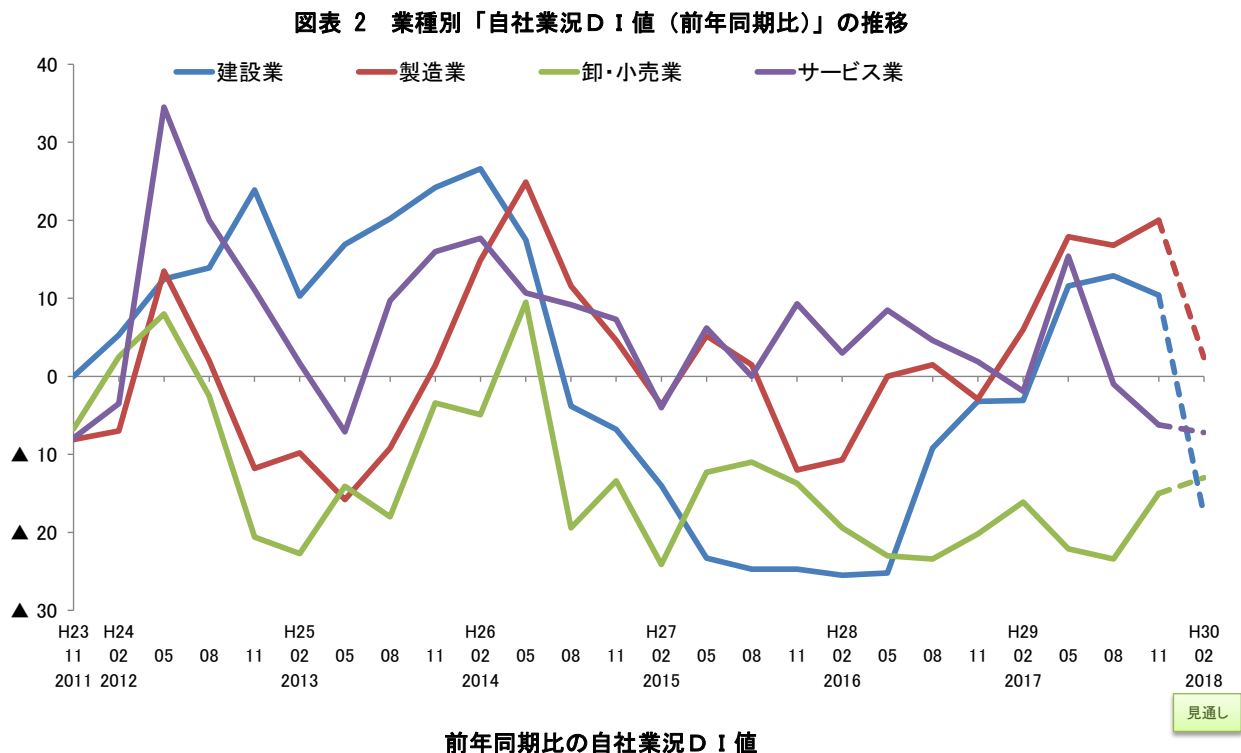
※「売上高」DI値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 10.4（前回調査比 2.5 ポイント下落）、製造業が 20.0（前回調査比 3.2 ポイント上昇）、卸・小売業が▲15.0（前回調査比 8.4 ポイント上昇）、サービス業が▲6.2（前回調査比 5.2 ポイント下落）と、製造業と卸・小売業で改善した一方、建設業とサービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、卸・小売業で改善するものの、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。



業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 3.2	▲ 2.9	▲ 20.2	1.9
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 3.1	6.0	▲ 16.1	▲ 1.9
H 29. 05 (n=419)	6.0	11.6	17.9	▲ 22.1	15.4
H 29. 08 (n=435)	4.4	12.9	16.8	▲ 23.4	▲ 1.0
H 29. 11 (n=418)	3.3	10.4	20.0	▲ 15.0	▲ 6.2
前回調査比	(▲ 1.1)	(▲ 2.5)	(3.2)	(8.4)	(▲ 5.2)
先行き見通し	▲ 8.1	▲ 17.7	2.4	▲ 13.0	▲ 7.2
今回調査比	(▲ 11.4)	(▲ 28.1)	(▲ 17.6)	(2.0)	(▲ 1.0)

(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

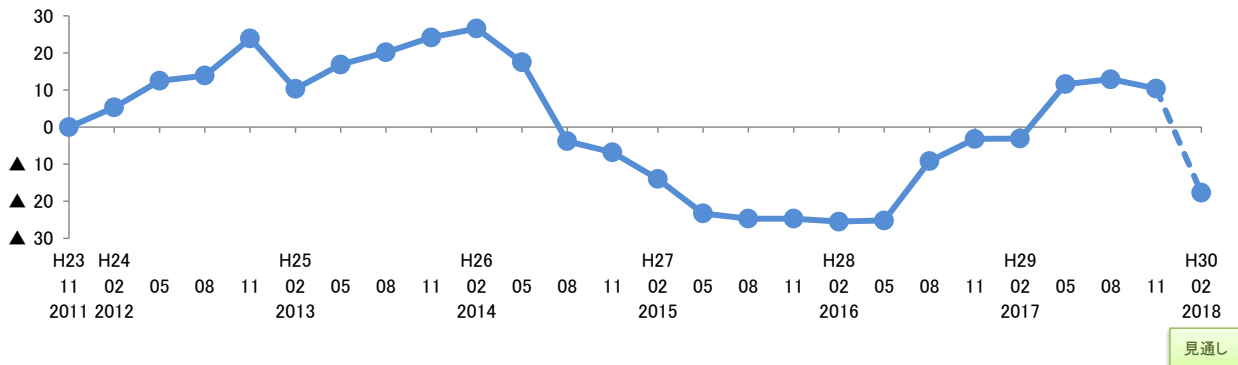
現状：7 期ぶりの悪化

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 10.4（前回調査比 2.5 ポイント下落）と 7 期ぶりの悪化となった。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「人員・人手」で値が上昇、その他 4 項目で悪化となっている。

来期の見通し：大幅な悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲17.7（今回調査比 28.1 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

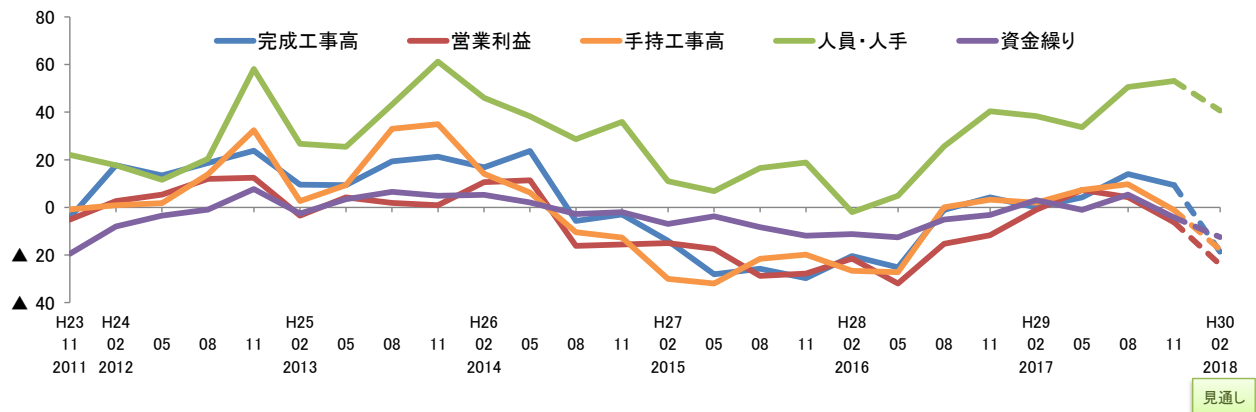
図表 3 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測	今回調査比					
H 28. 11 (n=94)	▲ 3.2	(6.0)	▲ 20.4	4.2	▲ 11.7	3.2	40.4	▲ 3.2
H 29. 02 (n=99)	▲ 3.1	(0.1)	▲ 17.0	0.0	▲ 1.0	2.0	38.3	3.0
H 29. 05 (n=95)	11.6	(14.7)	▲ 13.2	4.2	7.3	7.3	33.7	▲ 1.0
H 29. 08 (n=93)	12.9	(1.3)	▲ 20.0	14.0	4.3	9.7	50.5	5.4
H 29. 11 (n=97)	10.4	(▲ 2.5)	▲ 10.8	9.3	▲ 6.3	▲ 1.1	53.1	▲ 4.2
前回調査比	-	-	-	(▲ 4.7)	(▲ 10.6)	(▲ 10.8)	(2.6)	(▲ 9.6)
先行き見通し	▲ 17.7	-	-	▲ 18.7	▲ 24.0	▲ 17.7	40.7	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 28.1)	-	-	(▲ 28.0)	(▲ 17.7)	(▲ 16.6)	(▲ 12.4)	(▲ 8.3)

図表 4 建設業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 今期より通信土木部門を強化している。人員の確保が出来ればかなりの売上向上を見込める。(村山南)
- 今期は順調に推移しているが、来年の新規受注が公共工事の動向を見回しても見当たらない。(村山北)
- 下請けが多く利幅が少ないなか、賃金・厚生年金・消費税の金額が上がってきているので、経営・資金繰りが非常に厳しい状況。(最上)
- 冬期にかけて工事の全体量が少ない。今後の状況によっては、県外での下請工事が必要と感じている。(置賜)
- 前年度と変わらず、地元での工事量が少ない。(庄内田川)
- 業界の人手不足から忙しい状況は続くが、大きい物件は乏しく、当社も人手不足で工事件数もこなせないことから、工事高はさほど伸びない傾向である。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 働き方改革（残業時間の削減、有効な労働時間の活用）を図るため、プロジェクトチーム立ち上げによる対応を考えている。(村山南)
- 次期後継者を養成する事に尚一層力を入れ引き継ぎたい。(村山北)
- 今期、来期は繰越の手持ち工事が完成期を迎えるため、まずまずの売上高と利益が確保できそうであるが、公共工事の発注状況が先細りで、その後については不透明感がある。(最上)
- 現在は何とかまわっているものの、長く続く仕事も見えてこない中で、大変不安を感じている。(置賜)
- 新規事業の参入、人員確保に関しての広報に注力する。(庄内田川)
- 人材確保が優先課題。M & A も検討しながら業容拡大を図っていく。(庄内飽海)

② 製造業

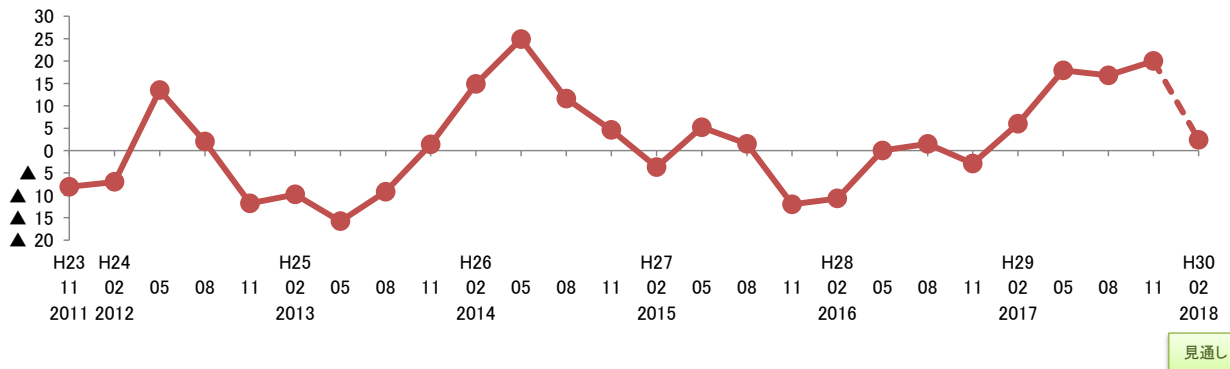
現状：2期ぶりに改善

「自社の業況DI値（前年同期比）」は20.0（前回調査比3.2ポイント上昇）と2期ぶりに改善した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「仕入価格」「資金繰り」で悪化となった。中でも「資金繰り」の悪化幅が大きく、DI値がマイナスに転じた。一方、「在庫状況」は改善となり、DI値がプラスに転じた。

来期の見通し：大幅な悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が2.4（今回調査比17.6ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

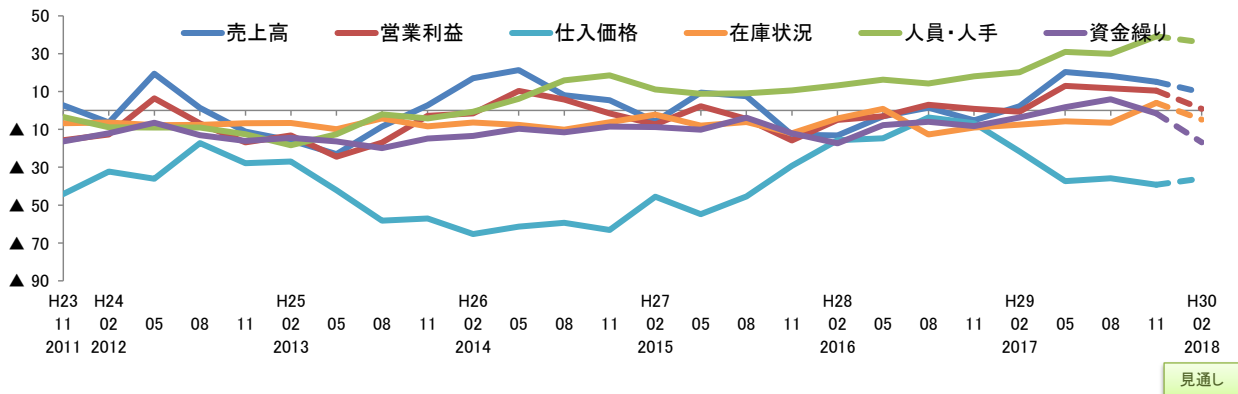
図表 5 製造業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28. 11 (n=134)	▲ 2.9	(▲ 4.4)	▲ 7.5	▲ 5.2	0.8	▲ 6.7	▲ 9.0	18.0	▲ 8.2
H 29. 02 (n=134)	6.0	(8.9)	4.5	2.2	▲ 0.7	▲ 21.7	▲ 7.5	20.2	▲ 3.7
H 29. 05 (n=123)	17.9	(11.9)	▲ 9.0	20.3	13.0	▲ 37.4	▲ 5.7	30.9	1.7
H 29. 08 (n=137)	16.8	(▲ 1.1)	8.2	18.3	11.7	▲ 35.8	▲ 6.5	29.9	5.9
H 29. 11 (n=125)	20.0	(3.2)	2.9	15.2	10.4	▲ 39.2	4.0	39.2	▲ 1.6
前回調査比	-	-	-	(▲ 3.1)	(▲ 1.3)	(▲ 3.4)	(10.5)	(9.3)	(▲ 7.5)
先行き見通し	2.4	-	-	9.6	0.8	▲ 36.0	▲ 4.8	36.0	▲ 16.8
今回調査比	(▲ 17.6)	-	-	(▲ 5.6)	(▲ 9.6)	(3.2)	(▲ 8.8)	(▲ 3.2)	(▲ 15.2)

図表 6 製造業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 受注減少分の内製化を進めて利益を確保している。(村山南)
- 半導体装置の一時的な減退の影響が大きく、4月以降の半導体液晶関連事業の受注が伸び悩んでいる。自動機製造の受注を伸ばして挽回を図ろうとしている。(村山北)
- ここに来て、建材部門の見積件数が増加している。オリンピック関連が動き始めている。(最上)
- 今期は、前年同期よりは好調だったが、前期よりは若干減となっている。委託加工業の為、生産調整等は不可となっており、客先様の生産量によって稼働の状況が大きく変動する。(置賜)
- 人件費の増加で製造原価増、収益減となっている。業況の見通しは現状維持と判断し経費の圧縮に努める。(庄内田川)
- 従来製品に新製品も加え、需要の掘り起こしを行っているが計画に届かず大変厳しい。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 顧客満足度を上げ、他社との差別化につなげていく。(村山南)
- 生産の効率化（時間外削減、原価管理等）に努めている。(村山北)
- 定年退職者などによる人員減少をカバーできる採用が難しく、外国人技能実習制度の活用を行っている。(最上)
- 現在、サーバーと周辺OA機器の更新を計画しており、見積もり、移動現品票、受注入力、出荷現品票、伝票発行等のシステムの合理化を半年から1年かけて実施していく。(置賜)
- 人手不足の中でも事業を発展させる体制づくり（仕組みづくり）、介護食の販路拡大、業務用と並行してコンシューマー向け商品の投入を行う。(庄内田川)
- 新商品の開発や展示会への出展を進めている。上期の反省をまとめ、下期に向け対策を打ち出し具体的に修正をしている。(庄内飽海)

③ 卸・小売業

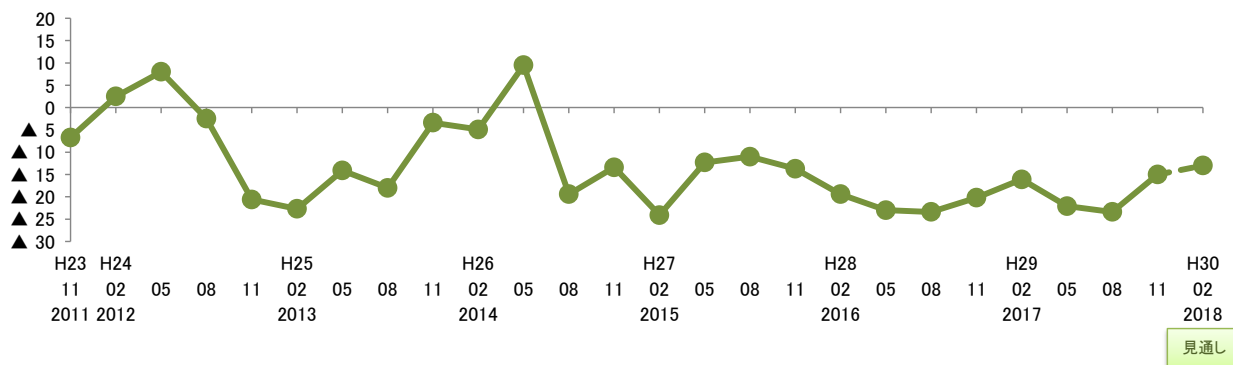
現状：3期ぶりに改善

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲15.0（前回調査比 8.4 ポイント上昇）と3期ぶりに改善となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「仕入価格」で悪化したものの、その他5項目で改善となり、特に「売上高」が大きく改善した。一方、「人員・人手」の値が大幅に上昇しており、依然として人手不足の状況がうかがえる。

来期の見通し：改善が見込まれる

業況の先行き見通しは、▲13.0（今回調査比 2.0 ポイント上昇）と改善の見込みとなっている。

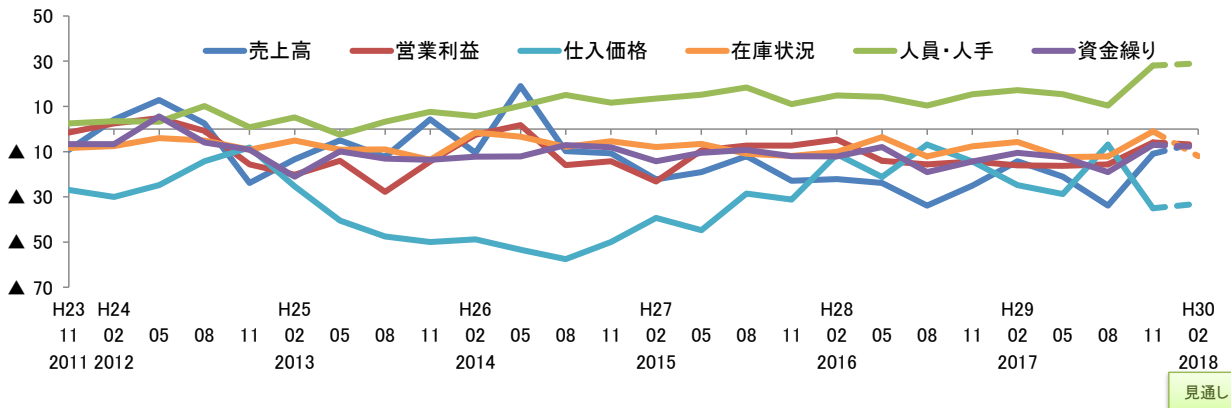
図表 7 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

卸・小売業 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 28.11 (n=104)	▲ 20.2	(3.2)	▲ 12.2	▲ 25.0	▲ 14.4	▲ 14.4	▲ 7.7	15.4	▲ 14.4
H 29.02 (n=105)	▲ 16.1	(4.1)	▲ 15.4	▲ 14.3	▲ 16.1	▲ 24.8	▲ 5.7	17.2	▲ 10.5
H 29.05 (n=104)	▲ 22.1	(▲ 6.0)	▲ 18.1	▲ 21.1	▲ 16.3	▲ 28.8	▲ 12.5	15.4	▲ 12.5
H 29.08 (n=105)	▲ 23.4	(▲ 1.3)	▲ 13.4	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 6.9	▲ 12.1	10.4	▲ 19.1
H 29.11 (n=100)	▲ 15.0	(8.4)	▲ 12.2	▲ 11.0	▲ 6.0	▲ 35.0	▲ 1.0	28.0	▲ 7.0
前回調査比	-	-	-	(22.9)	(9.6)	(▲ 28.1)	(11.1)	(17.6)	(12.1)
先行き見通し	▲ 13.0	-	-	▲ 6.0	▲ 7.0	▲ 33.0	▲ 12.0	29.0	▲ 8.0
今回調査比	(2.0)	-	-	(5.0)	(▲ 1.0)	(2.0)	(▲ 11.0)	(1.0)	(▲ 1.0)

図表 8 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 食品業界においては、中間マージンを減らさざるを得ない厳しい状況のため、問屋・卸の営業利益が圧迫されてきている。売上・利益ともに減少傾向へ変わってきた。(村山南)
- 売上は減るが、利益・経費は例年並み。目標達成に向け、利益重視でゆく。(村山北)
- 夏期にエアコンの取り付けが増加したが、必要に迫られてのことで、消費者の財布が緩んだとは思えない。(最上)
- 景気の良さが全く感じられない。賃金が上がらないことには消費も拡大しない。实体经济が良くなるとますます厳しくなる。(置賜)
- 主力の受託開発については軽減税率補助金の追い風があり、受注は堅調。(庄内田川)
- 建築関連がやや前期を上回ったが、自動車補修関連は低調。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 取引先の中で営業・売上バランスを見直して、収支の安定を進める。(村山南)
- 財務体質の改善、設備やシステムの計画的な維持更新、新卒・中途採用の継続、人事制度のマイナーチェンジに取り組む。(村山北)
- ロシア貿易(輸入)を拡大する。(最上)
- 保険の契約の強化、リース取り組みの強化を行う。(置賜)
- 新しいスキームを導入し、既存のユーザーのみならず新規ユーザー獲得を目指す。業界初のプラントを構築し、安定収益を確保する。(庄内飽海)

④ サービス業

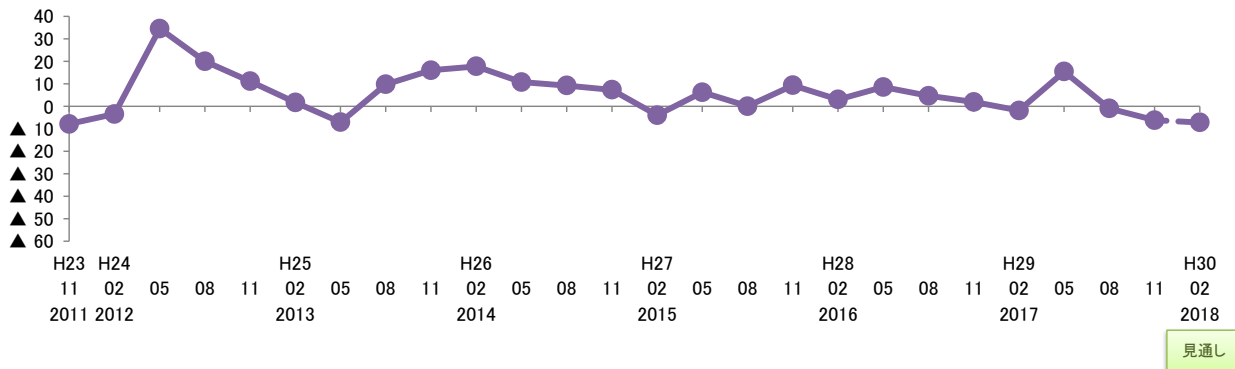
現状：2期連続で悪化

「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲6.2（前回調査比 5.2 ポイント下落）と、2期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」が横ばい、「営業利益」が改善、「資金繰り」が悪化となっている。「人員・人手」は3期連続で値が上昇しており、人手不足感が高まっている。

来期の見通し：悪化が見込まれる

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲7.2（今回調査比 1.0 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

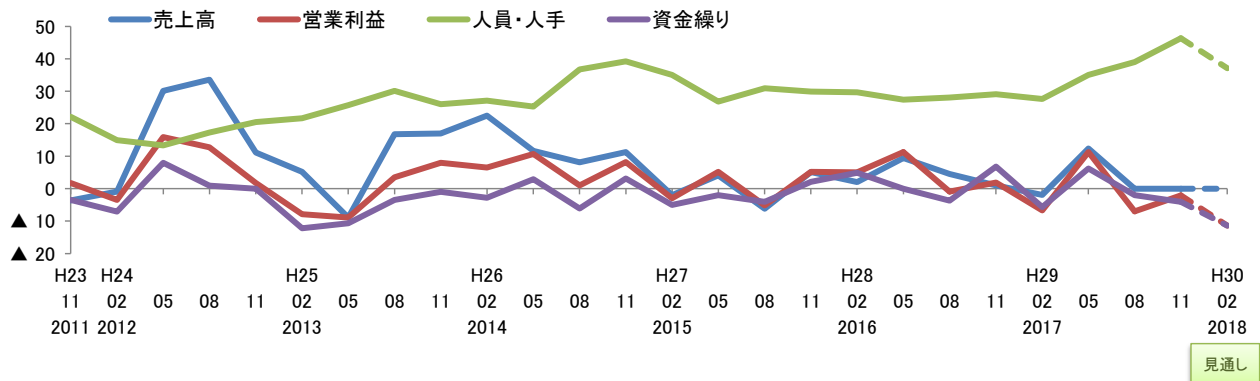
図表 9 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 28. 11 (n=103)	1.9	(▲ 2.7)	▲ 9.1	1.0	1.9	29.1	6.8
H 29. 02 (n=105)	▲ 1.9	(▲ 3.8)	▲ 17.5	▲ 1.9	▲ 6.7	27.6	▲ 5.7
H 29. 05 (n=97)	15.4	(17.3)	▲ 2.9	12.4	11.3	35.0	6.2
H 29. 08 (n=100)	▲ 1.0	(▲ 16.4)	▲ 15.5	0.0	▲ 7.0	39.0	▲ 2.0
H 29. 11 (n=97)	▲ 6.2	(▲ 5.2)	▲ 5.0	0.0	▲ 2.1	46.3	▲ 4.1
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(4.9)	(7.3)	(▲ 2.1)
先行き見通し	▲ 7.2	-	-	0.0	▲ 11.4	37.1	▲ 11.4
今回調査比	(▲ 1.0)	-	-	(0.0)	(▲ 9.3)	(▲ 9.2)	(▲ 7.3)

図表 10 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



Q. 今期の業況について

業界の声

- 人手不足から、売上げを伸張させることができない。減収、人件費の増加から減益になると思われる。(村山南)
- もうしばらくは良い状態が続くと思うが、整備、車販、特に新車について、メーカーの不正は響いている。(村山北)
- 需要が増えてきつつあるが、資材・輸送費の値上がりがあり厳しい。(最上)
- 金融機関のフィンテック対応に注視している。(置賜)
- 今期の業況は下期が厳しい状況にある。計画未達と予想。(庄内田川)
- 従業員の高齢化に伴い、若手の人材確保は急務であるが、なり手が見つからない。消費に関しても、まだ実感できるような好景気感を感じられない。(庄内飽海)

Q. 来期の見通しや対策について

- 人員確保を行う。現状、正社員が不足しており、パート及び外注でカバーしているが、将来に向け、中途採用も含め、定期的な採用を継続する。(村山南)
- 良い傾向にあるが、資材、輸送費等の値上がりがあつて厳しくなる。全体的に、値上がり傾向になっており心配要素。(最上)
- 来期は今期以上に繁忙期となるが、人手不足により他社応援も期待できず、厳しい状況が予想される。(置賜)
- 消費者への価格に、賃金上昇の分を反映することが課題。(庄内田川)
- 2～3年後に再雇用終了者が多く今から人員確保を検討中。(庄内飽海)

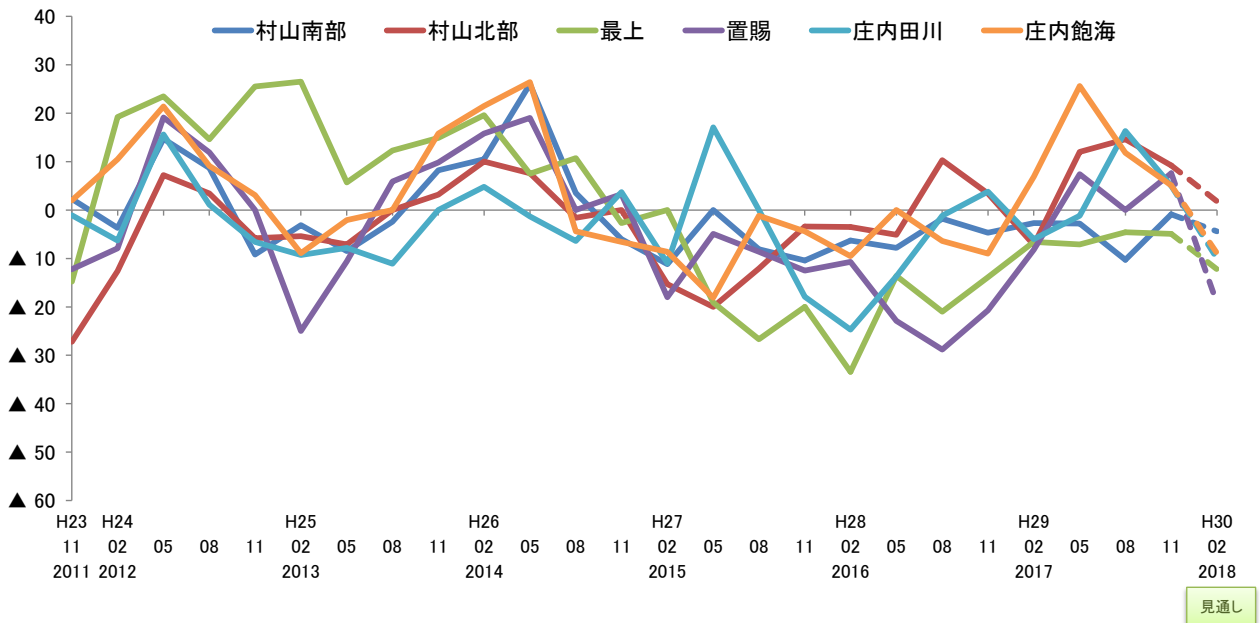
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲0.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）、村山北部が 9.2（前回調査比 5.4 ポイント下落）、最上が▲4.9（前回調査比 0.3 ポイント下落）、置賜が 7.6（前回調査比 7.6 ポイント上昇）、庄内田川が 5.0（前回調査比 11.3 ポイント下落）、庄内飽海が 5.1（前回調査比 6.7 ポイント下落）となっている。村山南部、置賜で改善した一方、村山北部、最上、庄内田川、庄内飽海で悪化となった。

業況の先行き見通しをみると、すべての地域で悪化が見込まれている。

図表 11 地域別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 28. 11 (n=435)	▲ 6.0	▲ 4.7	3.4	▲ 13.9	▲ 20.7	3.8	▲ 9.0
H 29. 02 (n=443)	▲ 3.1	▲ 2.7	▲ 7.2	▲ 6.6	▲ 8.2	▲ 6.0	6.9
H 29. 05 (n=419)	6.0	▲ 2.8	12.0	▲ 7.1	7.4	▲ 1.2	25.6
H 29. 08 (n=435)	4.4	▲ 10.3	14.6	▲ 4.6	0.0	16.3	11.8
H 29. 11 (n=418)	3.3	▲ 0.9	9.2	▲ 4.9	7.6	5.0	5.1
前回調査比	(▲ 1.1)	(9.4)	(▲ 5.4)	(▲ 0.3)	(7.6)	(▲ 11.3)	(▲ 6.7)
先行き見通し	▲ 8.1	▲ 4.4	1.8	▲ 12.2	▲ 19.2	▲ 10.0	▲ 8.9
今回調査比	(▲ 11.4)	(▲ 3.5)	(▲ 7.4)	(▲ 7.3)	(▲ 26.8)	(▲ 15.0)	(▲ 14.0)

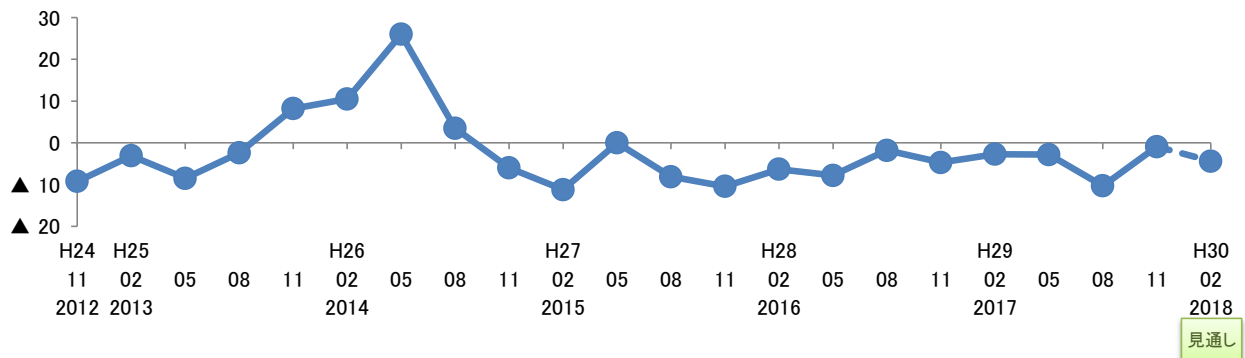
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

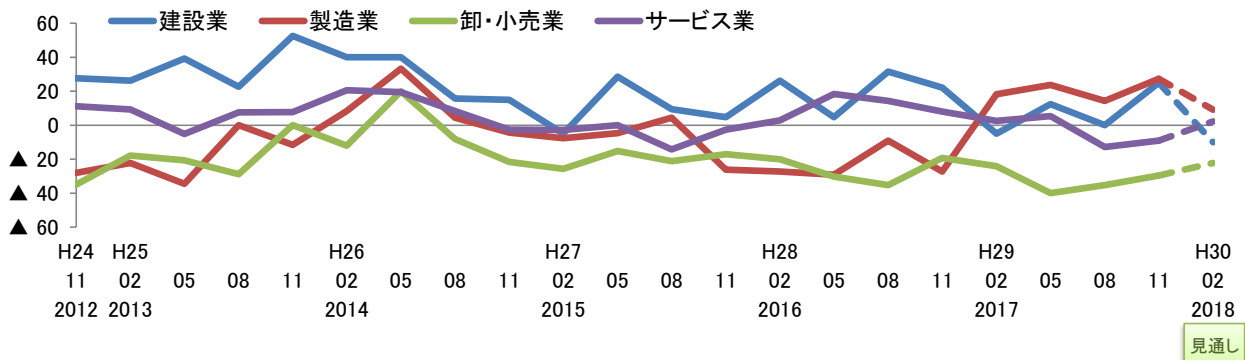
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲0.9（前回調査比 9.4 ポイント上昇）と大幅に改善した。業種別にみても、すべての業種で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値」が▲4.4（今回調査比 3.5 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 12 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 13 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

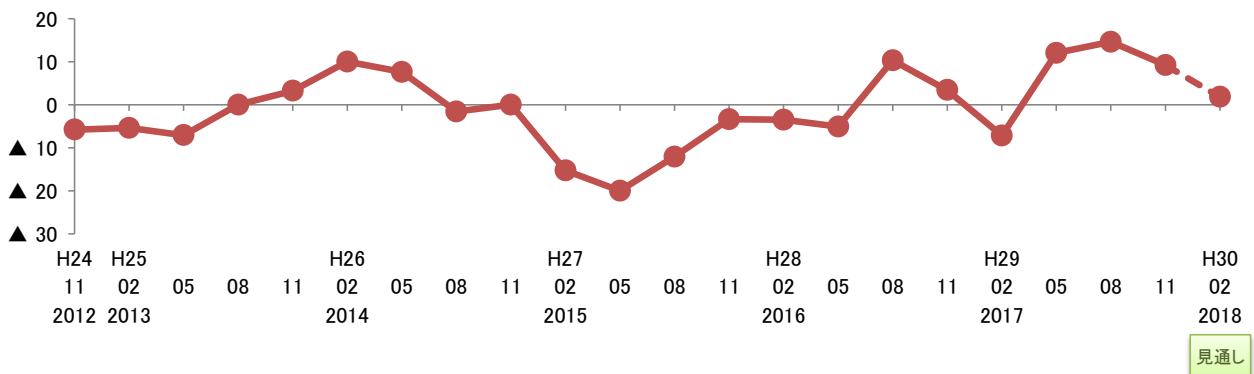
村山南部 調査時 (サンプル数)	自社業況 (前年同期比)			業種別/自社業況 (前年同期比)			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=108)	▲ 4.7	(▲ 2.9)	▲ 11.1	22.2	▲ 27.2	▲ 19.3	8.1
H 29. 02 (n=111)	▲ 2.7	(2.0)	▲ 11.1	▲ 5.0	18.2	▲ 24.1	2.5
H 29. 05 (n=104)	▲ 2.8	(▲ 0.1)	▲ 7.2	12.5	23.8	▲ 40.0	5.4
H 29. 08 (n=107)	▲ 10.3	(▲ 7.6)	▲ 11.6	0.0	14.3	▲ 35.3	▲ 12.9
H 29. 11 (n=113)	▲ 0.9	(9.4)	▲ 8.4	25.0	27.3	▲ 29.6	▲ 9.1
前回調査比	-	-	-	(25.0)	(13.0)	(5.7)	(3.8)
先行き見通し	▲ 4.4	-	-	▲ 10.0	9.1	▲ 22.2	2.3
今回調査比	(▲ 3.5)	-	-	(▲ 35.0)	(▲ 18.2)	(7.4)	(11.4)

② 村山北部

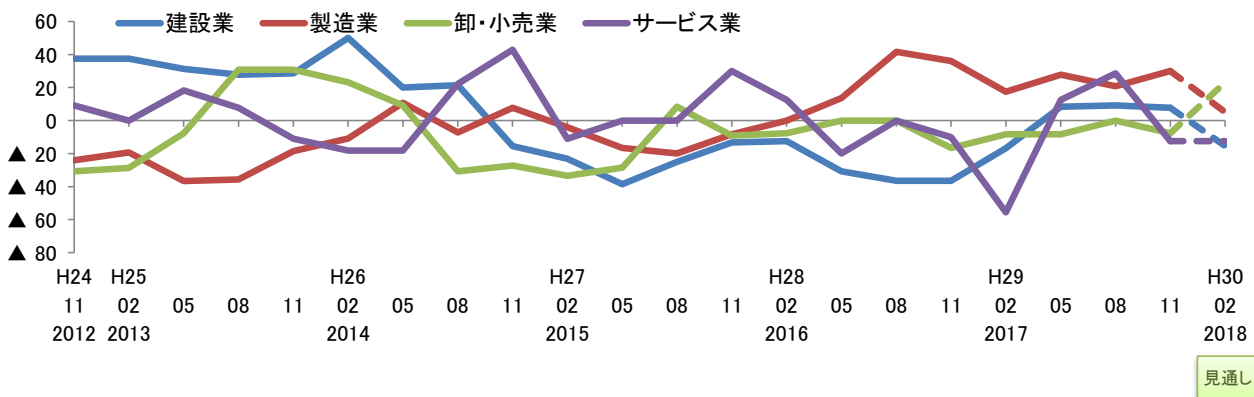
「自社の業況DI値（前年同期比）」は9.2（前回調査比5.4ポイント下落）と、DI値はプラスを維持したものの、3期ぶりに悪化となった。業種別にみると、製造業で改善となったものの、建設業、卸・小売業、サービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が1.8（今回調査比7.4ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 14 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 15 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

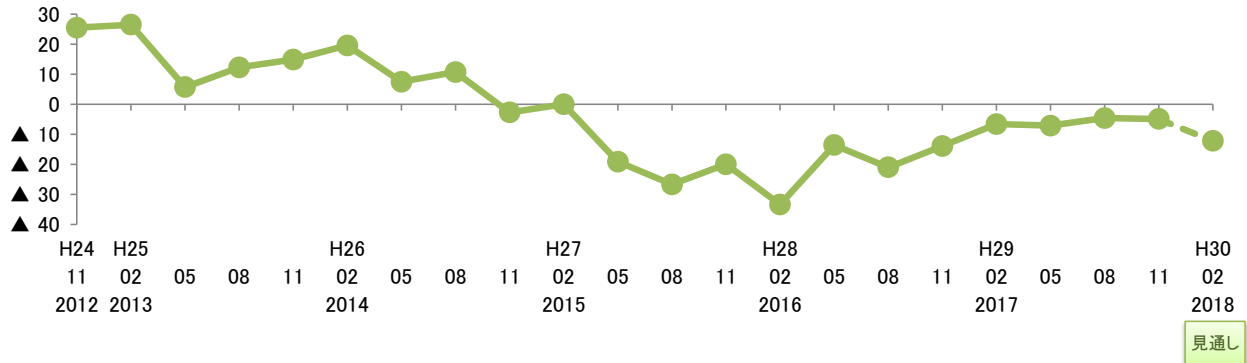
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=58)	3.4	(▲ 6.9)	5.1	▲ 36.4	36.0	▲ 16.6	▲ 10.0
H 29. 02 (n=56)	▲ 7.2	(▲ 10.6)	1.8	▲ 16.7	17.4	▲ 8.3	▲ 55.6
H 29. 05 (n=50)	12.0	(19.2)	▲ 16.1	8.3	27.7	▲ 8.3	12.5
H 29. 08 (n=55)	14.6	(2.6)	▲ 6.0	9.1	20.8	0.0	28.6
H 29. 11 (n=54)	9.2	(▲ 5.4)	▲ 5.4	7.7	30.0	▲ 7.7	▲ 12.5
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.4)	(9.2)	(▲ 7.7)	(▲ 41.1)
先行き見通し	1.8	-	-	▲ 15.4	5.0	23.1	▲ 12.5
今回調査比	(▲ 7.4)	-	-	(▲ 23.1)	(▲ 25.0)	(30.8)	(0.0)

③ 最上

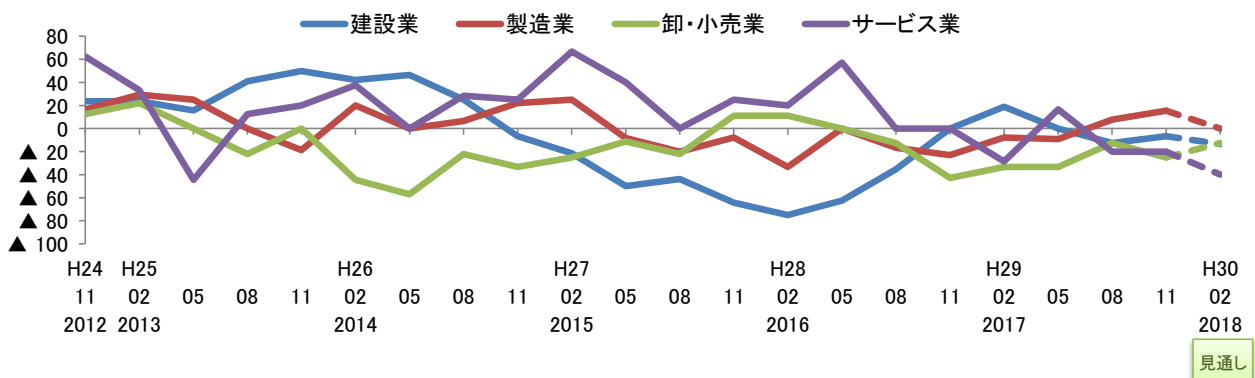
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲4.9（前回調査比0.3ポイント下落）とほぼ横ばいとなった。業種別にみると、サービス業が横ばい、建設業と製造業で改善、卸小売業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲12.2（今回調査比7.3ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 16 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 17 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

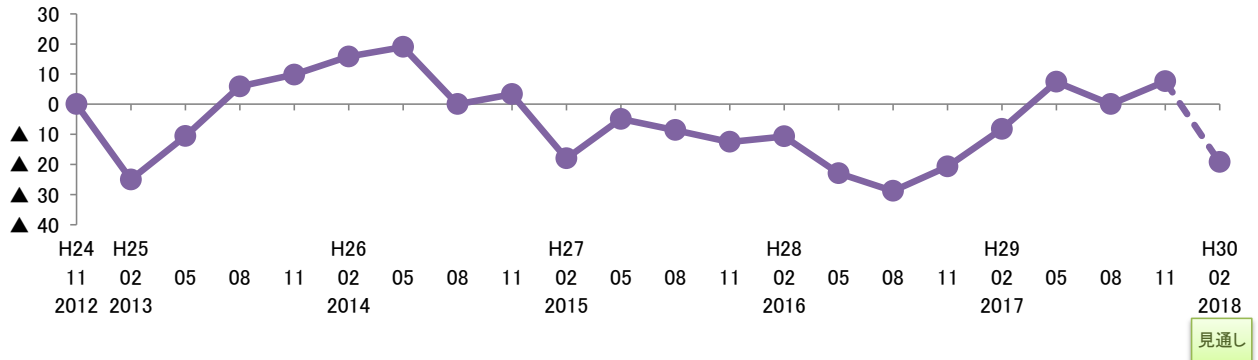
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=43)	▲ 13.9	(7.1)	▲ 9.3	0.0	▲ 23.1	▲ 42.9	0.0
H 29. 02 (n=45)	▲ 6.6	(7.3)	▲ 9.3	18.8	▲ 7.7	▲ 33.3	▲ 28.6
H 29. 05 (n=42)	▲ 7.1	(▲ 0.5)	▲ 22.2	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	16.6
H 29. 08 (n=44)	▲ 4.6	(2.5)	▲ 23.9	▲ 12.5	14.3	▲ 12.5	▲ 20.0
H 29. 11 (n=41)	▲ 4.9	(▲ 0.3)	▲ 2.3	▲ 6.6	15.4	▲ 25.0	▲ 20.0
前回調査比	-	-	-	(5.9)	(1.1)	(▲ 12.5)	(0.0)
先行き見通し	▲ 12.2	-	-	▲ 13.4	0.0	▲ 12.5	▲ 40.0
今回調査比	(▲ 7.3)	-	-	(▲ 6.8)	(▲ 15.4)	(12.5)	(▲ 20.0)

④ 置 賜

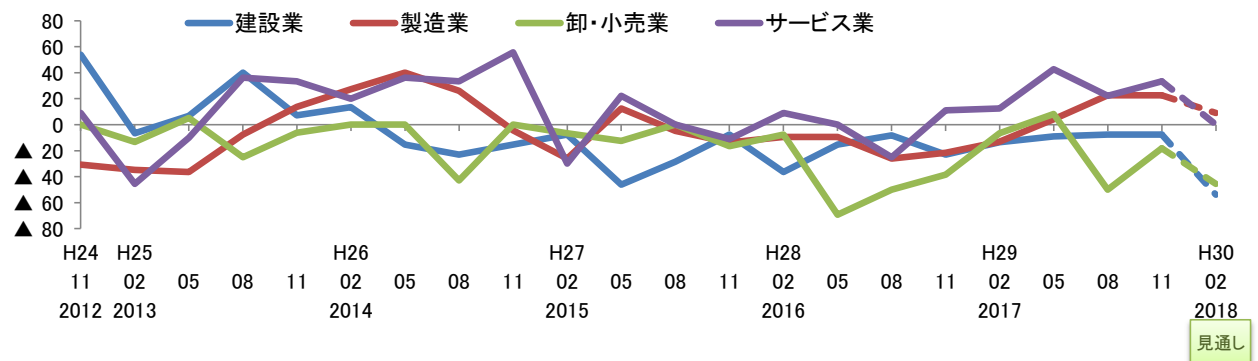
「自社の業況DI値（前年同期比）」は7.6（前回調査比7.6ポイント上昇）と2期ぶりに改善となった。業種別にみると、建設業が横ばい、その他3業種で改善となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲19.2（今回調査比26.8ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。

図表 18 置賜「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 19 置賜「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

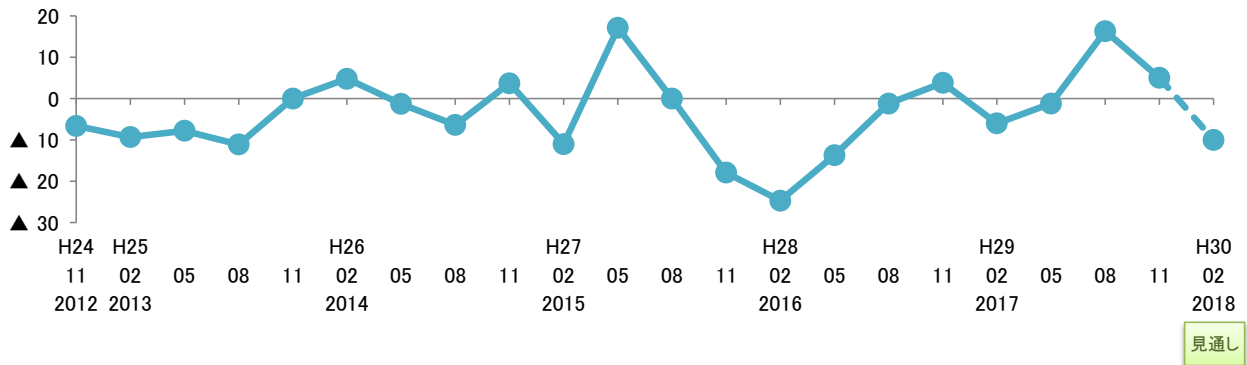
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=58)	▲ 20.7	(8.1)	▲ 20.3	▲ 23.1	▲ 21.7	▲ 38.5	11.1
H 29. 02 (n=61)	▲ 8.2	(12.5)	▲ 13.8	▲ 13.4	▲ 13.1	▲ 6.6	12.5
H 29. 05 (n=54)	7.4	(15.6)	▲ 16.4	▲ 9.1	4.1	8.3	42.8
H 29. 08 (n=58)	0.0	(▲ 7.4)	1.8	▲ 7.7	4.0	▲ 50.0	22.2
H 29. 11 (n=52)	7.6	(7.6)	▲ 10.4	▲ 7.7	22.7	▲ 18.2	33.4
前回調査比	-	-	-	(0.0)	(18.7)	(31.8)	(11.2)
先行き見通し	▲ 19.2	-	-	▲ 53.8	9.1	▲ 45.5	0.0
今回調査比	(▲ 26.8)	-	-	(▲ 46.1)	(▲ 13.6)	(▲ 27.3)	(▲ 33.4)

⑤ 庄内田川

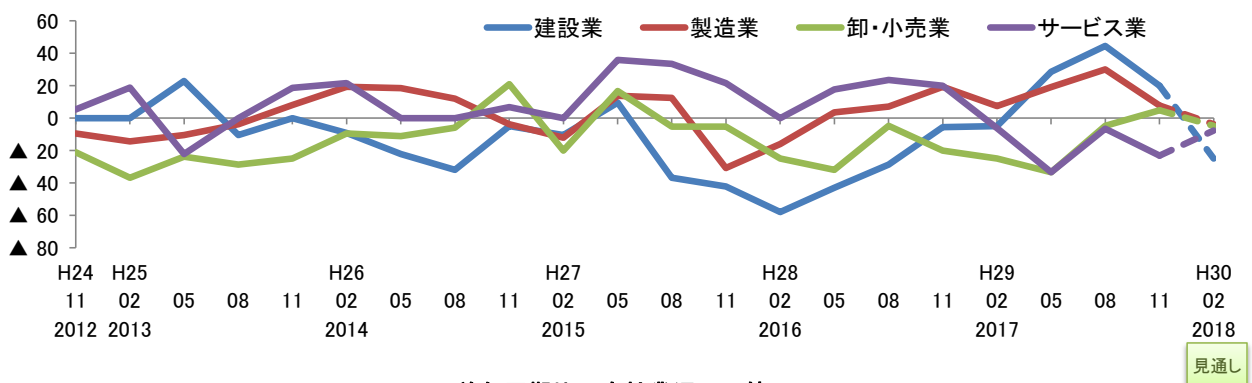
「自社の業況DI値（前年同期比）」は5.0（前回調査比11.3ポイント下落）と3期ぶりに悪化となった。業種別にみると、卸・小売業で改善したものの、建設業、製造業、サービス業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲10.0（今回調査比15.0ポイント下落）と悪化し、DI値が再びマイナスに転じる見込みとなっている。

図表 20 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 21 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

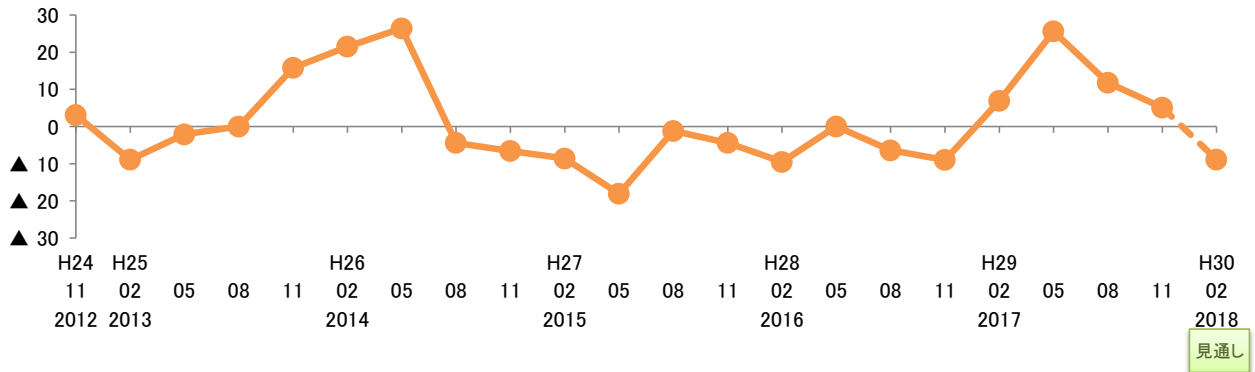
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=79)	3.8	(5.0)	▲ 18.4	▲ 5.6	19.3	▲ 20.0	20.0
H 29. 02 (n=83)	▲ 6.0	(▲ 9.8)	▲ 7.6	▲ 5.0	7.4	▲ 25.0	▲ 6.2
H 29. 05 (n=83)	▲ 1.2	(4.8)	▲ 8.4	28.6	19.2	▲ 33.3	▲ 33.3
H 29. 08 (n=86)	16.3	(17.5)	▲ 14.4	44.5	30.0	▲ 4.8	▲ 6.6
H 29. 11 (n=80)	5.0	(▲ 11.3)	▲ 4.6	20.0	7.7	4.8	▲ 23.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 24.5)	(▲ 22.3)	(9.6)	(▲ 16.5)
先行き見通し	▲ 10.0	-	-	▲ 25.0	▲ 3.8	▲ 4.8	▲ 7.7
今回調査比	(▲ 15.0)	-	-	(▲ 45.0)	(▲ 11.5)	(▲ 9.6)	(15.4)

⑥ 庄内飽海

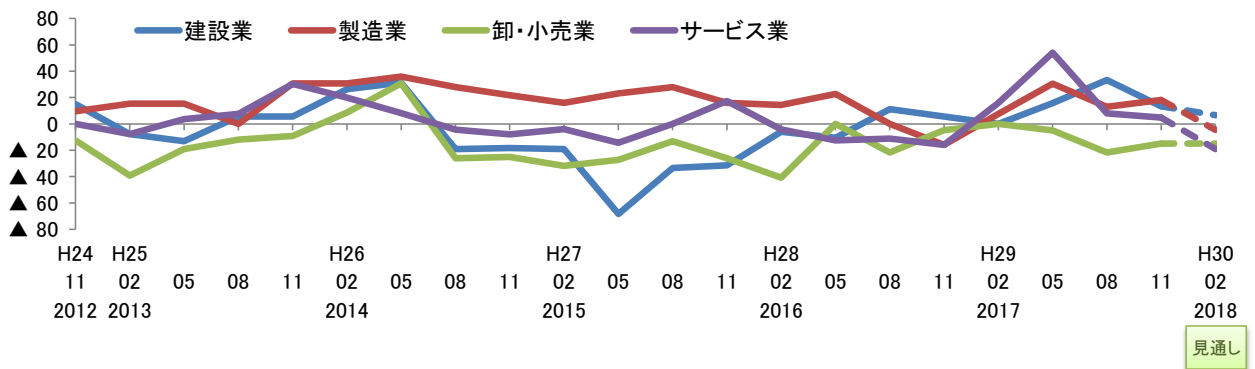
「自社の業況DI値（前年同期比）」は 5.1（前回調査比 6.7 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。業種別にみると、製造業と卸・小売業で改善したものの、建設業とサービス業で悪化となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値」が▲8.9（今回調査比 14.0 ポイント下落）とさらに悪化の見込みとなっている。

図表 22 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 23 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 28. 11 (n=89)	▲ 9.0	(▲ 2.6)	▲ 12.9	5.6	▲ 16.0	▲ 4.8	▲ 16.0
H 29. 02 (n=87)	6.9	(15.9)	▲ 16.9	0.0	7.7	0.0	16.0
H 29. 05 (n=86)	25.6	(18.7)	▲ 3.5	15.8	30.5	▲ 5.0	54.1
H 29. 09 (n=85)	11.8	(▲ 13.8)	▲ 2.3	33.3	13.0	▲ 21.7	8.0
H 29. 11 (n=78)	5.1	(▲ 6.7)	▲ 7.1	13.3	18.2	▲ 15.0	4.8
前回調査比	-	-	-	(▲ 20.0)	(5.2)	(6.7)	(▲ 3.2)
先行き見通し	▲ 8.9	-	-	6.7	▲ 4.6	▲ 15.0	▲ 19.0
今回調査比	(▲ 14.0)	-	-	(▲ 6.6)	(▲ 22.8)	(0.0)	(▲ 23.8)

II. 景気天気予報図

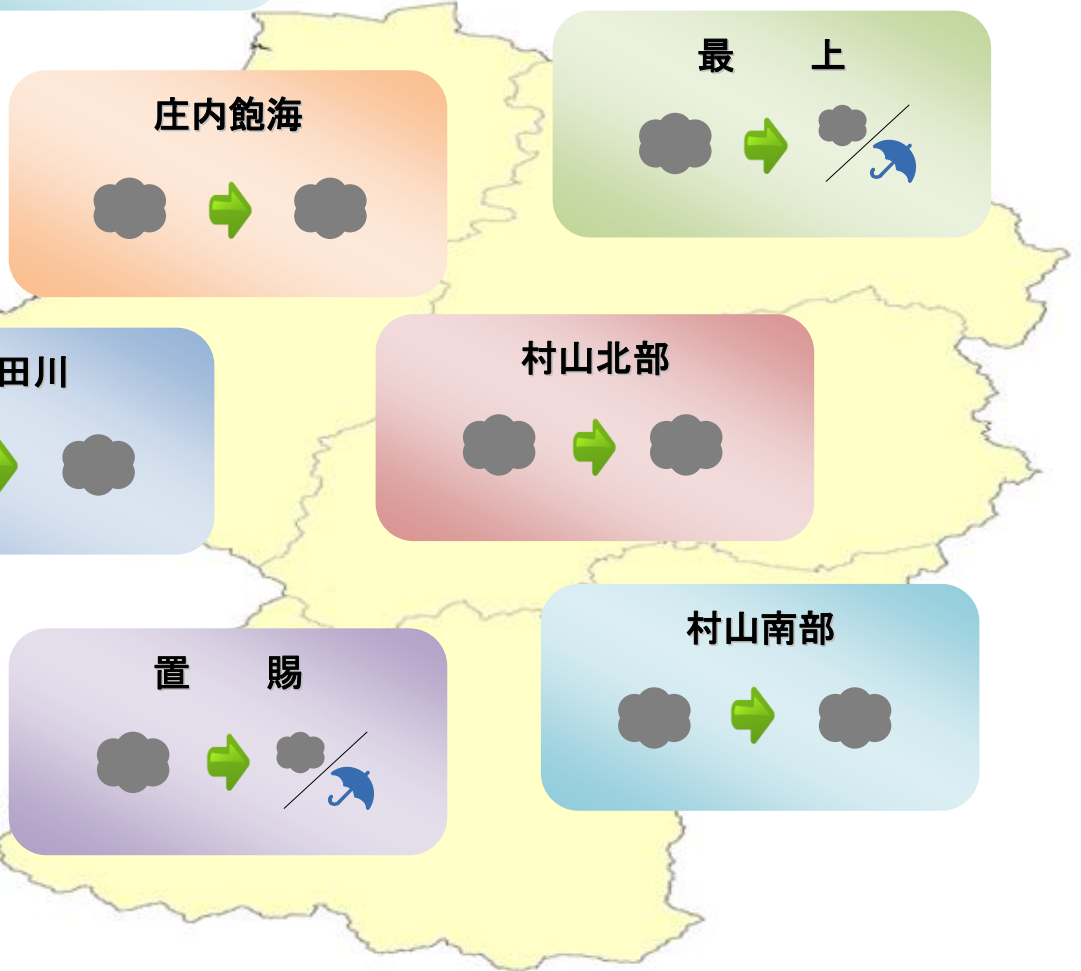
山形県

☁️ → ☁️

今期の業況 来期の見通し

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
D ₁ ≥30	30>D ₁ ≥10	10>D ₁ ≥▲10	▲10>D ₁ ≥▲30	▲30>D ₁



今期の概況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
建設業			☁️	☁️	☁️		
製造業						☁️	
卸・小売業			☁️			☁️	
サービス業	☁️	☁️					☁️

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種	☁️	☁️	☁️			☁️	☁️
建設業		☁️					☁️
製造業	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
卸・小売業						☁️	
サービス業	☁️	☁️			☁️	☁️	

III. 特別調査

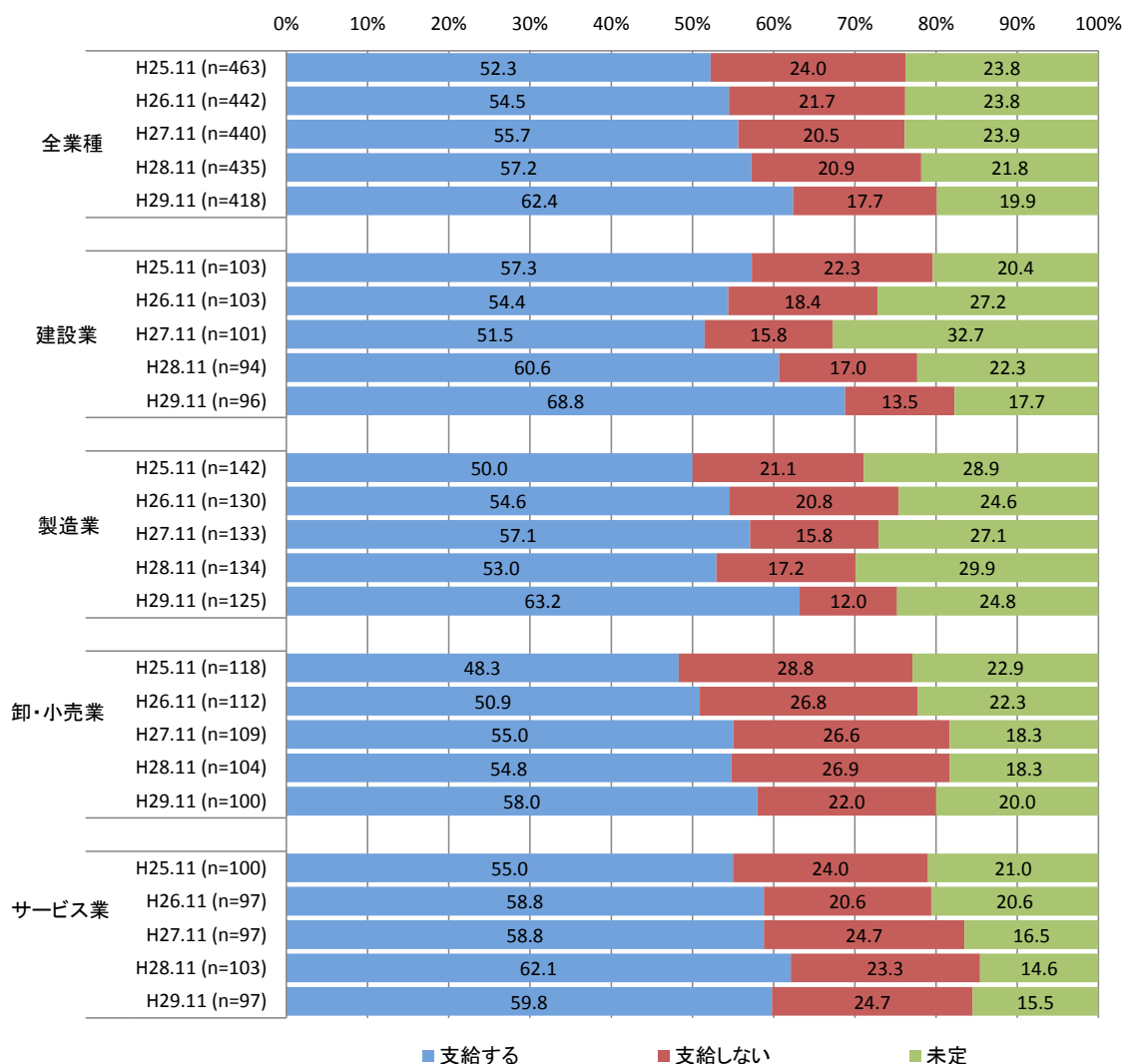
1. 冬季ボーナスについて

(1) 支給予定動向

冬季ボーナスの支給予定について尋ねたところ、全業種でみると「支給する」と回答した企業の割合は 62.4%（前年比 5.2 ポイント上昇）と、前年に比べて上昇し、平成 24 年 11 月調査以降 6 年連続の上昇となった。

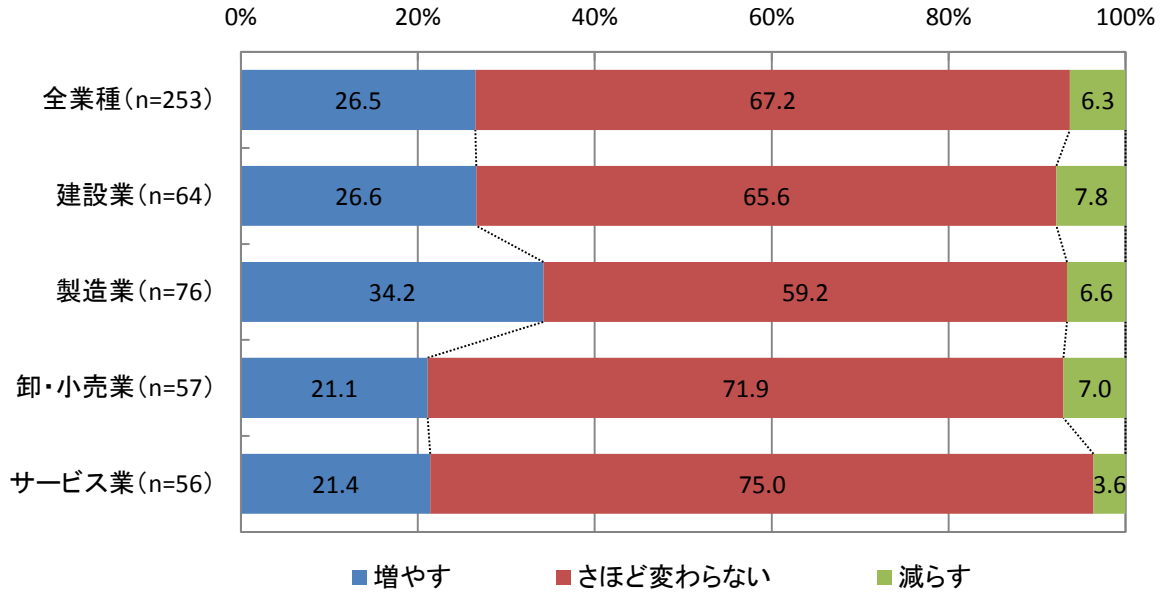
業種別にみると、「支給する」と回答した企業の割合は、建設業が 68.8%（前年比 8.2 ポイント上昇）、製造業が 63.2%（前年比 10.2 ポイント上昇）、卸・小売業が 58.0%（前年比 3.2 ポイント上昇）、サービス業が 59.8%（前年比 2.3 ポイント低下）と、建設業、製造業、卸・小売業で上昇している。

図表 24 業種別「冬季ボーナス支給動向」の推移



また、今季「支給する」と回答した企業に対し、昨年冬季と比べて支給額を増やすかどうか尋ねたところ、全業種で見ると「さほど変わらない」と回答した企業の割合が最も高く、67.2%であった。業種別にみると、製造業で「増やす」と回答した企業の割合が他業種に比べて高く、製造業において、景況感の好調な推移が反映されている状況がうかがえる。

図表 25 業種別 「冬季ボーナスを“支給する”企業の方針」



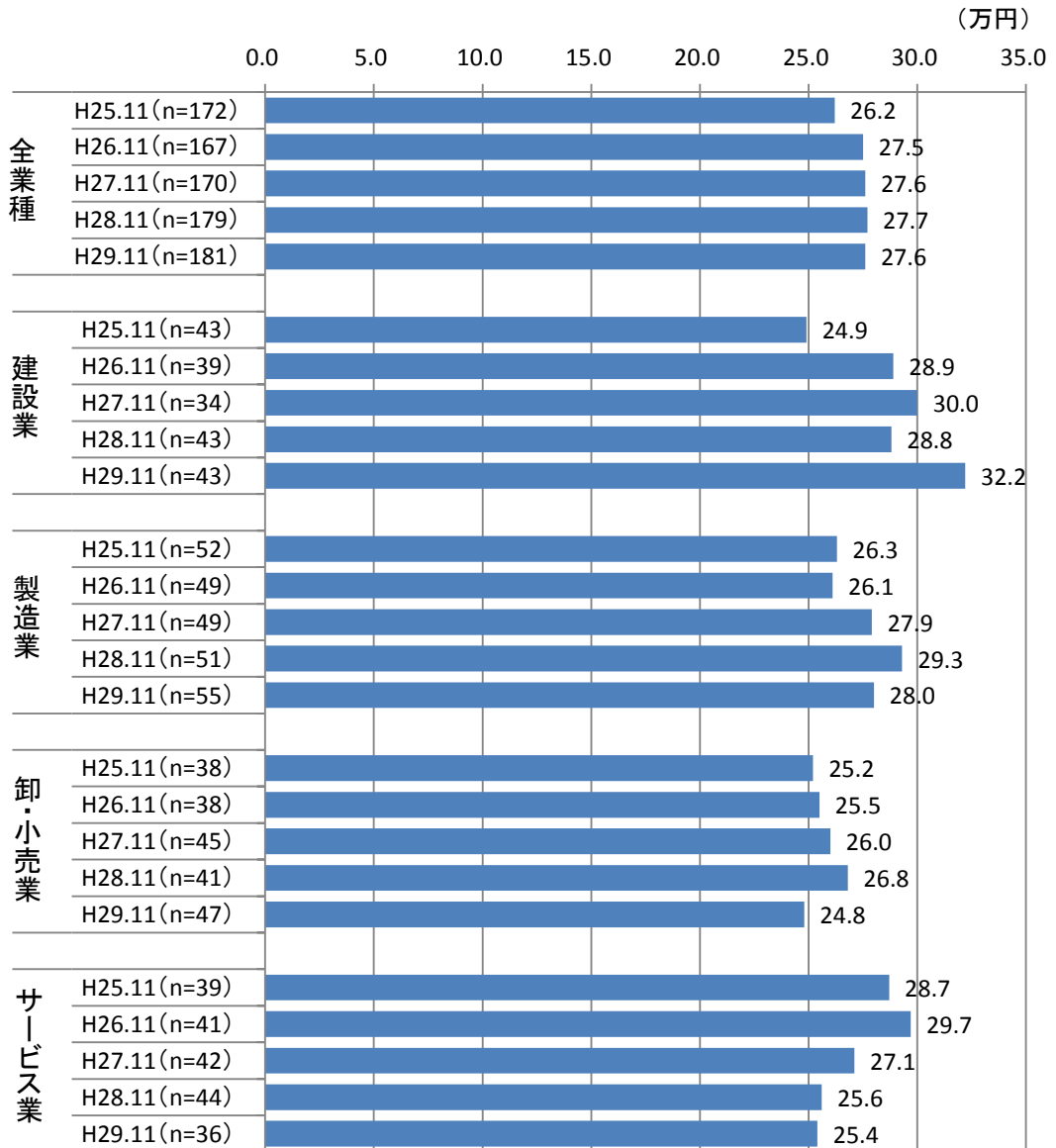
(2) 支給予定額

冬季ボーナスの支給予定額については、全業種平均で 27.6 万円となり、昨年に比べ 0.1 万円の減少となる見込みである。業種別にみると、建設業が 32.2 万円と最も高い一方、卸・小売業が 24.8 万円と最も低い。

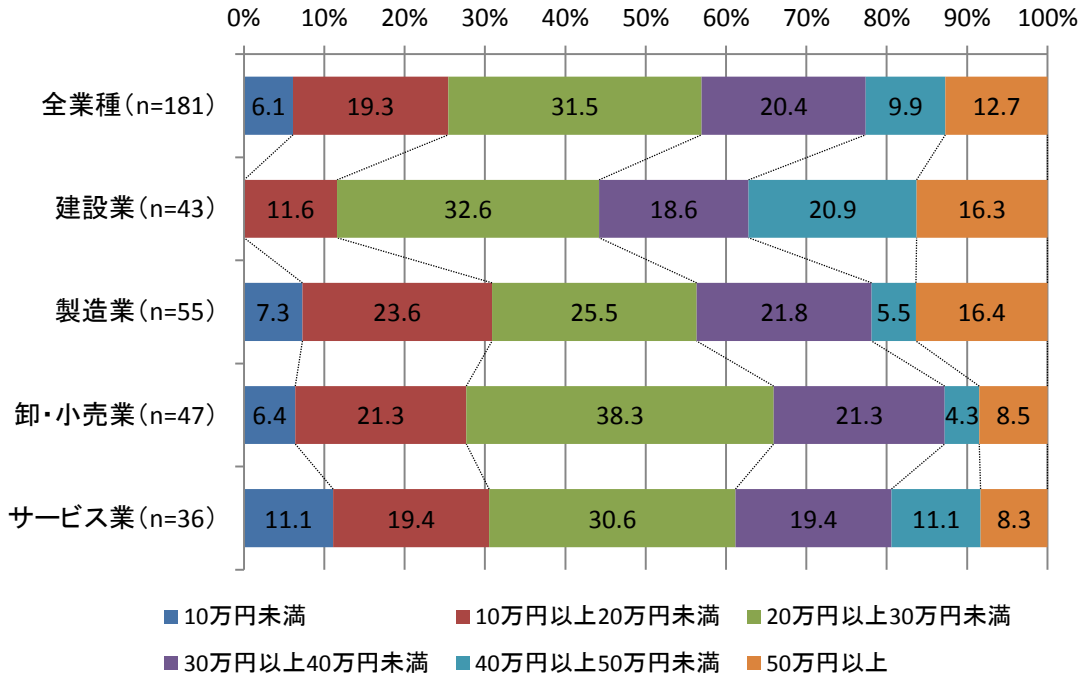
平均支給予定額は、全業種で「20 万円以上 30 万円未満」が最も多く、31.5%となっている（図表 27）。

平均支給予定月数は、全業種で「1.0 カ月以上 1.5 カ月未満」が最も多く、40.0%となっている（図表 28）。

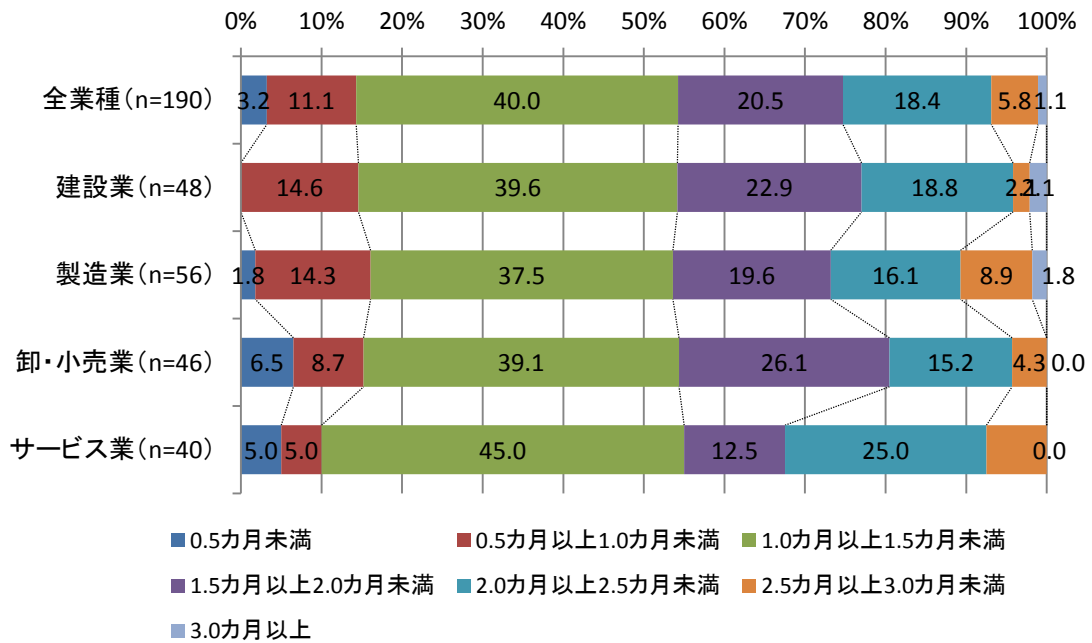
図表 26 業種別「冬季ボーナスの平均支給予定額」の推移



図表 27 業種別「冬季ボーナス平均支給予定額」



図表 28 業種別「冬季ボーナス平均支給予定月数」



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	23	35	48	55	161
村山北部	21	35	17	18	91
最上	21	18	11	18	68
置賜	23	32	25	14	94
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	35	36	31	38	140
合計	153	194	161	172	680

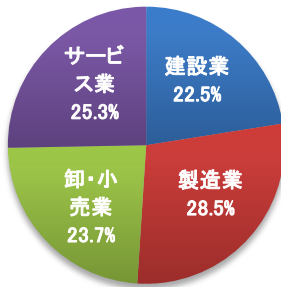
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	20	22	27	44	113
村山北部	13	20	13	8	54
最上	15	13	8	5	41
置賜	13	22	11	6	52
庄内田川	20	26	21	13	80
庄内飽海	15	22	20	21	78
合計	96	125	100	97	418

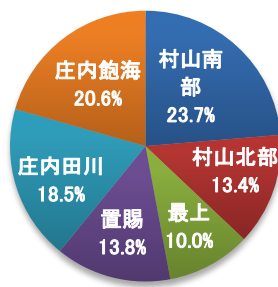
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	87.0	62.9	56.3	80.0	70.2
村山北部	61.9	57.1	76.5	44.4	59.3
最上	71.4	72.2	72.7	27.8	60.3
置賜	56.5	68.8	44.0	42.9	55.3
庄内田川	66.7	68.4	72.4	44.8	63.5
庄内飽海	42.9	61.1	64.5	55.3	55.7
合計	62.7	64.4	62.1	56.4	61.5

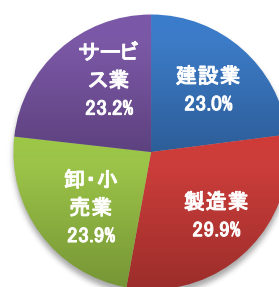
サンプル割合（業種別）



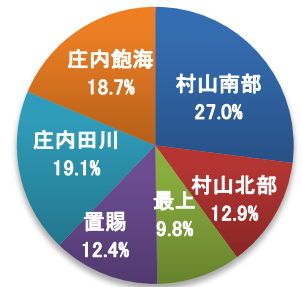
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

平成 29 年 11 月 1 日（水）～14 日（火）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採っている。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採っている

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちら是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 手塚 綾子

〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>